

令和4年6月13日

令和3年度 学校関係者評価委員会

学校法人 浅井学園
旭川調理師専門学校
学校関係者評価委員会

1. 開催日時

2022年6月13日（月）13時00分～15時00分

2. 開催場所

旭川調理師専門学校 イベントホール

3. 出席委員

【外部関係者】

- ・浅野 大 様（獣医師）／その他校長が必要と認める者
- ・小川 末代 様（ラッピングコーディネーター）／卒業生
- ・辻廣 博美 様（管理栄養士）／教育に関し知識を有する者
- ・押切 和也 様（専門調理師）／関連業界等関係者

【学校関係者】

- ・前川原 春吉（旭川調理師専門学校 校長）
- ・市橋 さゆり（旭川調理師専門学校 教頭）

4. 議事内容

- 1) 開会
- 2) 校長挨拶
- 3) 委員の選出
- 4) 委員の紹介
- 5) 学校関係者評価に係わる経緯説明および委嘱学校関係者評価に係わる経緯説明および委嘱
- 6) 委員長（議長）選出
- 7) 討議・意見交換
- 8) 閉会

令和3年度 学校関係者評価委員会 評価結果

基準 1. 教育理念・目的・育成人材像

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、ほぼ不適切…2 不適切…1			
		自己	(4)	3	2
・理念・目的・育成人材像は定められているか	委員会	(4)	3	2	1
学園の理念は、キリスト教的愛の精神と聖徳太子の説く和の心を融合した「愛と和」とし、校訓は、「明るく」「正しく」「らしく」としている。学生の夢を叶える力を育て、調理師業界に必要とされる人材の育成を行うことを目的に育成人材像を定めている					
・学校における職業教育の特色は何か	自己	(4)	3	2	1
	委員会	(4)	3	2	1
次の3つの学校教育方針「特色ある学校」「期待される学校」「支援される学校」に基づき、個人の能力、世界で活躍できるプレゼンテーション能力を高め、食育・食文化を発信・貢献できる教育を進める					
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	自己	(4)	3	2	1
	委員会	(4)	3	2	1
教育理念・建学の精神は教職員のみならず、学生諸氏にも授業科目の中で講義をおこない、教育の理念と目的を伝えている。また、入学式等の節目の日に、学生・保護者、非常勤講師等に対し、学校の理念等を伝え、周知を図っている。					

①課題

[特になし]

②今後の改善方策

[特になし]

③特記事項

[変化しつつある調理師業界の現状を収集し、時代のニーズ等を柔軟に取り入れ、さらなる構築体制を図る。]

○学校関係者評価及び意見

コロナ禍の影響により集まったの講師会の開催が出来なかったため年間スケジュールが分かり辛かった。

基準 2. 学校運営

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、ほ ぼ不適切…2 不適切…1			
		自己	④	3	2
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	委員会	④	3	2	1
学園が定める運営方針に基づき、毎年度目標や組織体制が策定され理事会に諮られる。調理師 育成のために徹底指導を強化し、わかる人からできる人の育成を目指す。①基礎技術の 徹底、②人間教育の徹底、③社会人としてのルールやマナーを養う、④実践力の徹底、⑤コミュニケーション力を養う、 ⑥専門職業分野の進む道を指導					
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	自己	④	3	2	1
	委員会	④	3	2	1
学園が定める運営方針に基づき、毎年度事業計画が策定され、理事会に諮られている。事業計画は、当該年度 の取組課題、継続事業、新規事業の計画として策定される。					
・ 人事・給与に関する規程等は整備されているか	自己	④	3	2	1
	委員会	④	3	2	1
学園が定める規程に基づき、理事会規程、管理運営規程、就業規則、役員等の報酬及び功労金に関する規程、 給与規定、休職中の給与等の取扱い、退職手当規程、旅費規程、嘱託教育職員に関する規程、嘱託職員の雇用 に関する内規、非常勤講師に關対する報酬規程、採用・昇任候補者の選定について申し合わせ事項等、諸規程 が整備されている。					

①課題

[特になし]

②今後の改善方策

[特になし]

③特記事項

[今後も、より実践的な職業教育を実現するために常に職員間でコミュニケーションを計
りながら学生指導を行っていく。]

○学校関係者評価及び意見

特になし

基準 3. 教育活動

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、ほ ぼ不適切…2 不適切…1			
		自己	4	③	2
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	委員会	④	3	2	1
教育理念に基づき、厚生労働省の認可校として調理師法の指定教科を中心に専門的且つ即戦力となり得る実習等を行っている。(1)コンクール応募のチャレンジや個に応じた課題目標を掲げ、向上心を持たせ技能の定着を図る(2)国内研修を必修科目とし、日本各地域の食文化を共に視て、体験し、視野を広げ感性を育む(3)社会人としてのモラルや挨拶、報告・連絡・相談の重要性を根気強く指導を徹底する(4)レストラン実習、クラブ活動での地域イベント参加による実践力強化(5)目標達成のためのミッションをワークチームで実現させ、コミュニケーション能力を向上させる(6)就職活動の指導強化					
・授業評価の実施・評価体制はあるか	自己	④	3	2	1
	委員会	④	3	2	1
学年末に授業アンケートを行う					
・成績評価・単位評価、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	自己	④	3	2	1
	委員会	④	3	2	1
基準をホームページに掲載しており、進級、卒業判定の方法は学生便覧に明示し、入学・進級ガイダンスにおいて、担当教員が説明し在學生に周知している					

①課題

〔 コロナ禍によりコンクール、イベントなどの開催が少なかったため、実践力・即戦力強化は、現在の状況で出来る事に制限さざるを得なかった。 〕

②今後の改善方策

〔 今までの実施方針に基づき、新しいスタイルでの実施を検討していく。 〕

③特記事項

〔 特になし 〕

○学校関係者評価及び意見

特になし

基準4. 学修成果

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、ほぼ不適切…2 不適切…1			
		自己	④	3	2
・就職率の向上が図られているか	委員会	④	3	2	1
<p>クラス担任が中心となり、校長をはじめ就職担当と連携をして進路、就職先選定から就職活動サポートまでの就職支援に当たっている。必修の就職対策講座として、就職に向けての基本講座、企業独自の会社説明会、マナー講座等を行い、企業の採用スケジュールに合わせて模擬面接、就職書類の添削等を実施している。求人状況及び内定状況は学内に周知している。</p>					
・資格取得率の向上が図られているか	自己	④	3	2	1
	委員会	④	3	2	1
<p>「調理師免許」「技術考査」「食育インストラクター」等、取得率の向上を目指し、カリキュラムに組み込み学習している。、あた、通常カリキュラムでは学習不足しているものに関しては、対策講座を別に設け合格率の向上を目指している。</p>					
・退学率の低減が図られているか	自己	④	3	2	1
	委員会	④	3	2	1
<p>前年度の実績をもとに、退学率低減に取り組んでいる。防止対策として、早い段階で保護者・本人との面談により良い方向性を模索する。</p>					

①課題

[就職率はもとより、本校はその就職先での定着率の向上が課題]

②今後の改善方策

[受験をするにあたり、社風や処遇等、その企業について十分に理解をさせたうえで、個々の適正を考慮し指導・対応をする。]

③特記事項

[コロナ禍でのなかであったが就職は全員内定できた。]

○学校関係者評価及び意見

特になし

基準5. 学生支援

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、ほ ぼ不適切…2 不適切…1			
		自己	④	3	2
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	委員会	④	3	2	1
	就職・進学相談に関しては、クラス担当教員、就職担当が連携をする支援体制をとっている。また、過去の就職試験内容が閲覧可能となっており、受験企業に即した個別面接指導も実施している。				
・学生相談に関する体制は整備されているか	自己	④	3	2	1
	委員会	④	3	2	1
学生相談は基本的にクラス担任教員が行っている。相談内容は、今後の進路や家庭のこと、精神的なこと、友人のこと等多岐に及ぶ。					
・卒業生への支援体制はあるか	自己	④	3	2	1
	委員会	④	3	2	1
就職後の悩み相談や転職等の相談に応じる等、卒業後もバックアップ体制をとっている。これは、進学ガイダンスや入学案内にもこの体制を紹介している。					

①課題

[特になし]

②今後の改善方策

[特になし]

③特記事項

[学生相談の体制が整っており在校生・卒業生の満足度が高い。]

○学校関係者評価及び意見

特になし

基準 6. 教育環境

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、ほ ぼ不適切…2 不適切…1			
		自己	4	3	2
・施設設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	自己	4	③	2	1
	委員会	④	3	2	1
<p>即戦力を養う、身に付ける上でも現場に近い環境を提供している。また、学校全体の施設・設備は厚生労働省認可校としての設置基準を満たしている。日々の管理は教員が行い、定期的なメンテナンスは専門業者に依頼している。また、学生が快適な学習環境を確保できるよう、多様化する業界ニーズに対応できるよう施設設備の検討、並びに、備品チェックや補充を行い、必要な教材を整備している。</p>					
・学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	自己	4	③	2	1
	委員会	④	3	2	1
<p>ガイドラインに定める教育活動において、校外実習は現場実習の目的を十分に果たせる実習先を確保し、その実習先での実習内容や選択は、学生のマッチングに配慮したものである。また、実習前の心構えや実習後の気づき、諸注意などの教育も十分におこなっている。</p>					

①課題

[コロナ禍において校外での実習が出来なかったため校内での実施となった。]

②今後の改善方策

[学生に将来的なイメージを持てるよう、出来るだけ現場同様の形で校内実習実施。]

③特記事項

[特になし]

○学校関係者評価及び意見

特になし

基準7. 学生の募集と受け入れ

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、ほ ぼ不適切…2 不適切…1			
		自己	④	3	2
・学生募集活動は、適正に行われているか	委員会	④	3	2	1
	学生募集活動は、本校が加盟している北海道私立専修学校各種学校連合会のルール及び学則を基に、募集開始時期、募集内容を遵守し、適正に行われている。資料請求や進学ガイダンス等で取得した個人情報適正に管理し、目的外使用はしない。				
・学生募集において、教育成果は正確に伝えられているか	自己	④	3	2	1
	委員会	④	3	2	1
入学案内やホームページ、高校訪問、進学ガイダンス時に配布する資料などで、就職実績や教育内容、学外活動状況の報告などを公表、強いアピールをし、本校が行う教育成果について正確な情報提供を心がけている。					
・学納金は妥当なものとなっているか	自己	④	3	2	1
	委員会	④	3	2	1
学納金は入学金を除外し、900,000円（年間）である。その内訳は授業料、実験実習費、施設設備費、維持費である。その他、教材代、研修費、学生保険料など諸経費は入学要綱に明細を記載している。また、経費の見直しや他校の学納金と比較をしながら、適正度を確認している。					

①課題

[昨今の、高校3年生人口の減少により、定員の確保、定員充足率の維持が今後もより難しくなっている。]

②今後の改善方策

[調理師という業界魅力の発信や、地域や学校独自の特色を前面に押し出し、ホームページや入学案内をはじめとする、諸媒体を使用して取り組みを周知していく]

③特記事項

[学納金の施設設備費、維持費、授業料の変更を行い、より授業内容の充実を図る。]

○学校関係者評価及び意見

特になし

基準 8. 財務

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、ほ ぼ不適切…2 不適切…1			
		自己	④	3	2
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	自己	④	3	2	1
	委員会	④	3	2	1
<p>収入面では、昨年度の定員充足率はおよそ58%ながら、補助活動収入の影響もあり、学生納付金を含め予算通りの推移を見せた。また支出面においては、人件費を含め事業活動収支の諸比率の数値は、良好な数値であり、恒常的な経費の低減に努めたことにより、本校としての財政基盤は安定していると考えられる。しかしながら、80%の充足率を維持しながらの健全で安定した経営・運営をしていくための中長期的な対策が課題である。</p>					
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	自己	4	③	2	1
	委員会	④	3	2	1
<p>予算・収支計画は、予算編成方針に基づき本校が作成した予算案を常勤理事会を経て、理事会での承認後、執行されることとしている。通常は12月頃には予算計上し、学園全体予算として最終的に3月の理事会に諮られ決定されている。その他予算計上のない収支が発生する場合は、都度に補正予算を編成し、理事会承認後執行することとしている。</p>					
・財務について会計監査が適正に行われているか	自己	4	③	2	1
	委員会	④	3	2	1
<p>会計監査については、学園の寄附行為に基づき、監事監査、会計監査人監査を実施している。監事監査は、計算書類を主に、業務面及び財産状況に関する監査を実施している。当該年度決算に関わる最終監査に立ち会い、5月に「監査報告書」を作成し、決算が決議される理事会に監査報告を行っている。会計監査人監査は、会計の適法性・適正性の観点から監査を実施している。</p>					

①課題

[特になし]

②今後の改善方策

[特になし]

③特記事項

[特になし]

○学校関係者評価及び意見

特になし

基準 9. 法令等の遵守

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、ほ ぼ不適切…2 不適切…1			
		自己	④	3	2
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	自己	④	3	2	1
	委員会	④	3	2	1

高等教育を目的とする社会的機関としての責務を果たすため、法令順守や必要な組織倫理に関し「寄附行為」「学則」を基本規則として、教育、学務、管理運営の諸分野を体系的に整理した規程を制定しており、法令遵守と適正な運営が図られている。

・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	自己	④	3	2	1
	委員会	④	3	2	1

個人情報の保護については、「個人情報保護規程」「学生に関する個人情報の取扱規程」を制定。誓約書を提出してもらうこととし、個人情報の保護に努めている。誓約書や情報等の保管については厳重になされている。

・自己評価の実施と問題点の改善をおこなっているか	自己	④	3	2	1
	委員会	④	3	2	1

自己点検・自己評価の実施については規程を整備し、学内で自己点検・評価を行うことにより、改めて学校運営の様々な視点から問題点を見出し、さらなる改善を行う。

①課題

[特になし]

②今後の改善方策

[特になし]

③特記事項

[特になし]

○学校関係者評価及び意見

特になし

基準10. 社会貢献

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、ほ ぼ不適切…2 不適切…1			
		・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献をおこなっているか	自己	4	③
	委員会	④	3	2	1

士別道の駅販売会、道北アークスとの企業コラボ販売会、よつ葉からのレシピ依頼、中学校の職場体験授業の受け入れ、高等学校の出前授業・進学ガイダンスの参加など年間を通して取組を行っている。

①課題

[特になし]

②今後の改善方策

[特になし]

③特記事項

[コロナ禍で活動が制限された中でも新たなウィズコロナの活動と共に新しいスタイルが確立できた。]

○学校関係者評価及び意見

特になし